



多彩なプロフェッショナルでつなぐ未来へのバトン

座談会参加メンバー

後藤 朋子 国土インフラ事業部 中国支社

河川・港湾グループ グループサブマネージャー

中国地方における国土交通省、岡山県など自治体の港湾施設や海岸施設を中心とする設計に取り組んでいる。1996年入社。

松山 薫 防災保全事業部 東京支社

耐震・保全グループ プロジェクトマネージャー

他の建設コンサル、行政職員を経て入社4年。防災計画や災害リスク評価などに関する業務を担当。

森田 みずき 都市環境・資源・マネジメント事業部 東京支社
造成・緑環境グループ 副査

公園等の調査・計画・設計を担当。新規整備や改修に向けたワークショップ、Park-PFI関連の活動も。入社13年。

黒田 琴絵 都市環境・資源・マネジメント事業部 国際支社
環境エネルギーグループ 主任

環境影響評価や廃棄物関連の業務を担当。環境省出向で気候変動関連の国際協力業務にも従事。入社8年。

田中 麻琴 都市環境・資源・マネジメント事業部 東京支社
都市・マネジメントグループ 技師

官民連携の事業化検討や事業者選定、モニタリングなどを担当。他部署との連携も多い。入社4年。
(所属、役職は2025年5月31日時点のもの)



座談会は東京都中野区の本社で実施した(岡山市の中国支社に勤務する後藤朋子さんはリモートで参加)。

「仕事や会社の魅力について感じていることや、関心を持っていることをお聞かせ下さい。」

田中 所属するマネジメントグループは他の部門との連携も多い部署です。私自身も廃棄物処理施設や公園を設計する部門と一緒に活動しています。総合建設コンサルタントとしていろんな施設の業務に携われることに魅力を感じています。それぞれ学ぶことも多く大変ですが、その分経験を積むことができます。

森田 田中さん、黒田さんの話には共感します。建設



後藤 今回の座談会で皆さんが夢を持っているのを感じました。新しい取り組みも支援してくれる会社であることが共通認識として得られまし



エイト日本技術開発が創業70周年を迎えた。松江市で八雲測量社として創業して以来、何度かの商号変更や合併などを経て現在に至る。2007年6月発足の持ち株会社E・Jホールディング

ス傘下の総合建設コンサルタント会社として、地球環境や国土の保全、地域のインフラ整備に優れた技術を提供し続けている。70周年を記念して今回、同社で働く5人の女性社員によ

る座談会を実施。「多彩なプロフェッショナルでつなぐ未来へのバトン」をテーマに技術者としてのやりがいや魅力、将来展望など、それぞれの思いを語り合った。

エイト日本技術開発 創業70周年記念女性技術者座談会



座談会では、黒田 長野県の諏訪湖周辺でバイパス道路の環境アセスを担当したことがありました。先ず、その地域に移住した友人宅に泊まりに行ったのですが、当時、交通渋滞に悩まされる地域の声も聞いており、地域課題を解決する道路の工事が進んでいるのを見てうれしくなりました。

田中 環境分野の仕事をする中で、社会の関心が高まっているのを感じています。24年に発足した国際支社所属となり、日本の知見を生かして海外の環境改善につながることに貢献していきたいという思いが強くなっています。

森田 田中さん、黒田さんの話には共感します。建設

最近では発注者側にも女性が増え、一緒に取り組むことが楽になっています。女性技術者として仕事をする上での魅力の一つといえるでしょう。設計を行う際、測量や調査の担当者や連携します。港湾施設の設計に取組む上で地震動の作成などで手伝ってもらったことがあります。

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

座談会では、黒田 長野県の諏訪湖周辺でバイパス道路の環境アセスを担当したことがありました。先ず、その地域に移住した友人宅に泊まりに行ったのですが、当時、交通渋滞に悩まされる地域の声も聞いており、地域課題を解決する道路の工事が進んでいるのを見てうれしくなりました。

田中 環境分野の仕事をする中で、社会の関心が高まっているのを感じています。24年に発足した国際支社所属となり、日本の知見を生かして海外の環境改善につながることに貢献していきたいという思いが強くなっています。

森田 田中さん、黒田さんの話には共感します。建設

最近では発注者側にも女性が増え、一緒に取り組むことが楽になっています。女性技術者として仕事をする上での魅力の一つといえるでしょう。設計を行う際、測量や調査の担当者や連携します。港湾施設の設計に取組む上で地震動の作成などで手伝ってもらったことがあります。

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

田中 社内教育制度ではないのですが、技術士の試験に向上させるために何が必要でしょうか。教員風土があるのはありがたいと育制度などを含めた会社を取り組みについて考えがあまりないです。一つずつ経験を積み上げていきながら、次につなげていくことが重要だと思っています。これまでも若手

経験を積み上げ次のステップへ

後藤さん

子どもたちへの防災教育に関心

松山さん

公園設計にインクルーシブな視点

森田さん

海外の環境改善へ日本の知見生かす

黒田さん

各種施設に携われるのも魅力

田中さん



株式会社
エイト日本技術開発

人の力で、
未来を創る。

未来を、創る力。



今を、活かす力。

心がつながる
環境を創造したい

街の新陳代謝を
踏まえた整備を
創造したい。

家族が安心して
過ごせる場を
創造したい。

最先端を活かした
安心・安全な
インフラを創造したい

地域の文化が
継承される未来を
創造したい。

災害に強い
都市づくりを
創造したい。

交通インフラと
未来の流通で
賑わいを創造したい。

景観と自然が調和した
インフラを創造したい。

私たちエイト日本技術開発は、

皆さまの支えのもと、

インフラ・ソリューション事業を

通じて社会に貢献し、

70周年を迎えました。

地域の賑わいを創り、

景観と文化を守り、

安全で持続可能な環境を築く。

その想いを最先端の技術で形にし、

新たな価値を創造します。

今を活かし、未来を創る力。

それを生み出すのは「人の力」です。

私たちは想像力と共創力を駆使し、

多様な課題に挑戦し続けます。

価値ある環境を未来へつなぐために、

新たな挑戦を始めます。



株式会社

エイト日本技術開発

<https://www.ejec.ej-hds.co.jp>

本社 〒164-8601 東京都中野区中野 2-24-11 TEL. 03-5341-5152
本店 〒700-8617 岡山市北区津島京町 3-1-21 TEL. 086-252-8917

エイト日本技術開発は、おかげさまで 70 周年を迎えました。